

政策・施策・事業整理票

研究振興局

政策

政策目標	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応
概要	「超スマート社会」を世界に先駆けて実現するための取組を強化するとともに、国内外で顕在化している重要政策課題に対応する研究開発や国家戦略上重要な基幹技術開発を重点的に推進する。



施策

※平成30年度事前分析表より転記

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのかわかるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのかわかるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応
施策の概要	「生命現象の統合的理解」を目指した研究を推進するとともに、「先端医療の実現のための研究」等の推進を重視し、国民への成果還元を抜本的に強化する。さらに、生命倫理問題等が及ぼす倫理的・法的・社会的課題に対し、研究の進展状況を踏まえた施策への反映、研究者等への法令等の遵守の徹底等を通じ、 最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の潤いを目指す。
達成目標1	医薬品・医療機器開発への取組： 医薬品創出のための支援基盤の整備等により、 革新的医薬品・医療機器開発を推進する。
達成目標2	臨床研究・治験への取組： 全国に橋渡し研究拠点を整備し、 アカデミア等の基礎研究の成果を一貫して実用化につなぐ体制を構築する。
達成目標3	世界最先端の医療の実現に向けた取組： iPS細胞等を用いた革新的な再生医療・創薬をいち早く実現するための研究開発の推進を図るとともに、ゲノム医療の実現に向けた取組を推進する。
達成目標4	疾病領域ごとの取組： がん、精神・神経疾患、感染症等の疾患克服に向けた研究開発等を推進する。
達成目標5	幅広いライフサイエンス分野の取組の推進： ライフサイエンス研究基盤の整備、国際共同研究等の幅広いライフサイエンス分野の取組を推進。
達成目標6	研究の発展・動向を踏まえ、生命倫理に関する法令・指針に基づいた規制を適切に実施する。



事業

※平成31年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているのかわかるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	医療分野の研究開発の推進	
事業の目的	日本医療研究開発機構において、 医療分野の研究開発及びその環境の整備、研究機関における医療分野の研究開発及びその環境の整備に対する助成等を行うことで、革新的な医薬品・医療機器等の実用化を促進し、健康長寿社会の形成を目指す。	
事業概要	健康・医療戦略(平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更)、医療分野研究開発推進計画(平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更)に基づき、 日本医療研究開発機構において、以下のような医療分野の研究開発を基礎から実用化まで一貫して推進するために必要な経費を措置する。 (補助率定額) ○ 医薬品・医療機器開発への取組 ○ 臨床研究・治験への取組 ○ 世界最先端の医療の実現に向けた取組 ○ 疾病領域ごとの取組 等	
アウトカム	①	定量的な成果目標 独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果のうち、施設・設備に関する計画を除いた項目において、標準評価以上の評価を受けた項目の割合とする。 成果指標 標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。
	②	定量的な成果目標 前年度以上の新たな創薬シーズ件数 ※ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションの貢献を測るための目安として設定した 成果指標 創薬支援により新たに創薬シーズが見つかった件数(年度)
	③	定量的な成果目標 橋渡し研究戦略的推進プログラム(H28まで橋渡し研究加速ネットワークプログラム)において平成32年度までに約17件の基礎研究課題を治験の段階に移行させる 成果指標 橋渡し研究支援拠点の支援により基礎研究の成果が医薬品医療機器法に基づく医師主導治験の段階に移行した数
	④	定量的な成果目標 再生医療実現拠点ネットワークプログラムにおいてiPS細胞等幹細胞を用いた課題の臨床研究又は治験に移行する対象疾患を約15件に拡大 成果指標 iPS細胞等幹細胞を用いた課題の臨床研究への移行(件)(累積)
	⑤	定量的な成果目標 再生医療実現拠点ネットワークプログラムにおいて難病患者由来のiPS細胞により同定された新規治療薬候補の臨床応用を5件開始 成果指標 難病患者由来のiPS細胞により同定された新規治療薬候補の臨床応用(件)(累積)
	⑥	定量的な成果目標 脳科学研究戦略的推進プログラム・脳機能ネットワークの全容解明プロジェクトにおいて前年度を上回る論文掲載を達成する 成果指標 事業の成果としての論文数
	⑦	定量的な成果目標 バイオ医薬品における製薬企業が抱える技術的課題を解決するとともに次世代技術を創出し、少なくとも1件の革新的バイオ医薬品創出基盤技術を5年以内に企業等へ技術移転する 成果指標 企業等への技術移転件数
	⑧	定量的な成果目標 研究基盤として整備している実験動物の系統保存数 成果指標 バイオリソースの系統保存数の代表例である実験動物(ショウジョウバエ)の系統保存数(系統数)
	⑨	定量的な成果目標 研究基盤として整備している実験植物の系統保存数 成果指標 バイオリソースの系統保存数の代表例である実験植物(イネ)の系統保存数(株数)
アウトプット	(1)	創薬支援の取組における化合物提供件数(累積)
	(2)	創薬支援の取組における放射光施設外部利用件数
	(3)	橋渡し研究支援拠点で支援しているシーズ数
	(4)	再生医療実現拠点ネットワークプログラムで支援するiPS細胞等幹細胞を用いて臨床応用を目指す研究課題(件)(平成25年度からの累積)
	(5)	再生医療実現拠点ネットワークプログラムで支援する 難病等の患者由来のiPS細胞を用いて創薬研究を実施する研究課題(件) (平成25年度からの累積)
本事業の成果と上位施策との関係	本事業を適切に実行することにより、日本医療研究開発機構における基礎研究から臨床まで一貫した医療分野の研究開発が推進されることで、測定指標に掲げる目標値達成に向けた研究成果等が創出され、施策目標9-3に掲げる生命現象の統合的理解や先端医療の実現等の目標が達成される。	